

専門学校ESPエンタテインメント東京

| 授業科目名 | 声優基礎講座 | | 授業形態 / 必・選 | 講義 | 必修 |
|---|--|-------|--------------|-------|-----|
| | | | 年次 | 1年次 | |
| 授業時間 | 90分 (1単位時間45分) | 年間授業数 | 39回 (78単位時間) | 年間単位数 | 5単位 |
| 科目設置学科コース | 声優養成コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> | | | | |
| 担当講師 実務経歴 | 実務経験60年 アニメ、吹き替え、ナレーションと幅広く活動。国民的アニメでのナレーションを担当したことで有名。また、ディズニースタジオ内のショーやパレードなどで長きに渡って演じ続けており、代表作の1つ。駅の自動放送も担当していた。 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 声優にとって必要な基礎能力（表現力、演技力など）の習得。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 文字を読むだけでなく、相手に伝えるということを理解し、場面に合わせての演じ分けができるようになる。 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------|---|
| 【前期】 1～5回目 | リズム・表情・発声・反射神経を同時に使うメソッド 発声・滑舌・リズムを兼ねたメソッド |
| 【前期】 6～10回目 | 感情表現について 役を作るときのヒントの探り方 |
| 【前期】 11～15回目 | インプロとは イメージネーションの中で言葉を伝える |
| 【前期】 16～20回目 | 滑舌訓練について |
| 【後期】 21～24回目 | 滑舌とイントネーションについて 唇と顎のアクティビティ |
| 【後期】 25～28回目 | 音圧を増すメソッド 滑舌とリズム |
| 【後期】 29～32回目 | 意識を拓げる、笑いで腹筋を鍛える アクセントテキスト、早口滑舌発声 |
| 【後期】 33～35回目 | シーンの情景のイメージ |
| 【後期】 36～39回目 | 「語る」伝えるという事 |
| 評価方法 | 学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価） |
| 学生へのメッセージ | 固定観念に捕らわれず、自由な発想で楽しむことを忘れずに受けてください。 |
| 使用教科書 | 習得する内容に合わせて、随時プリントを配布。 |

専門学校ESPエンタテインメント東京

| 授業科目名 | 発声基礎講座 | | 授業形態 / 必・選 | 講義 | 必修 |
|---|---|-------|--|------------------------------|-----|
| | | | 年次 | 1年次 | |
| 授業時間 | 90分 (1単位時間45分) | 年間授業数 | 40回 (80単位時間) | 年間単位数 | 5単位 |
| 科目設置学科コース | 声優養成コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員による授業科目 | | 該当 <input checked="" type="checkbox"/> | 非該当 <input type="checkbox"/> | |
| 担当講師 実務経歴 | 実務経験23年 声優・ナレーターとしてアニメ、テレビ、ドラマ、洋画の吹き替えに多数出演している。 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 正しい声の出し方、アクセント、イントネーションを学ぶ。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 発声ができるようになるだけでなく、場面に合わせての役作りや、時間的制限のあるナレーションでも、しっかりと声を出せる技術を習得することを目標とする。 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------|--|
| 【前期】 1～5回目 | 腹式呼吸、ロングブレス、ショートブレスについての解説 |
| 【前期】 6～10回目 | ア行からワ行まで発声練習の方法 音読：朗読のポイント説明①、外郎売 |
| 【前期】 11～15回目 | アクセント練習方法 表情筋トレーニング方法 |
| 【前期】 16～21回目 | 母音交錯について |
| 【後期】 22～25回目 | 前期のおさらい 1万時間の法則について |
| 【後期】 26～29回目 | 体内時計の習得方法 1分間スピーチ |
| 【後期】 34～37回目 | 音読：朗読のポイント説明② 距離感やスピード感の実感 |
| 【後期】 38～40回目 | 年間を通しての自己評価 |
| 評価方法 | 学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価） |
| 学生へのメッセージ | 授業時間外での復習が非常に大切です。日々の反復を頑張ってください。 |
| 使用教科書 | 習得する内容に合わせ、随時プリントを配布。 |

専門学校ESPエンタテインメント東京

| | | | | | |
|---|--|-------|--------------|-------|-----|
| 授業科目名 | セルフスタイリング講座 | | 授業形態 / 必・選 | 講義 | 必修 |
| | | | 年次 | 1年次 | |
| 授業時間 | 90分 (1単位時間45分) | 年間授業数 | 40回 (80単位時間) | 年間単位数 | 5単位 |
| 科目設置学科コース | 声優養成コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> | | | | |
| 担当講師 実務経歴 | 実務経歴5年 二十歳から第一線で活動し、オールラウンダーとして映像や雑誌、企業広告、着物ヘア等々、ジャンル問わず幅広く活躍。 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| キチンとしたメイクの方法を学び、自分をより良く魅せる為のスキルを習得します。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 各場面 (普段、ステージ上、プロフィール写真用など) に合わせ、それぞれ異なったメイクが必要となるので、自分に合ったメイクの方法を見つけることが目的です。 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------|---|
| 【前期】 1～5回目 | <ul style="list-style-type: none"> ヘアスタイルとヘアメイクの重要性 それぞれの場面(普段、プロフィール、仕事)でのヘアメイクの違いなど |
| 【前期】 6～10回目 | <ul style="list-style-type: none"> スキンケアについて・メイク道具の基礎知識 肌の特徴について・肌のトラブルについて |
| 【前期】 11～15回目 | <ul style="list-style-type: none"> 顔の特徴について(自分の顔を分析する) パーソナルカラーについて(自分が得意な色味を知る) フェイシャルマッサージについて |
| 【前期】 16～21回目 | <ul style="list-style-type: none"> ベースメイクについて 眉毛のメイクや整え方 目元のメイク(アイライン、アイシャドウ) |
| 【後期】 22～26回目 | <ul style="list-style-type: none"> チーク・リップ ヘアメイクとの組み合わせ方 ヘア道具(コテ、ヘアアイロンの使い方) |
| 【後期】 27～31回目 | <ul style="list-style-type: none"> スタイリング剤の種類と使い方 服装について 自分の体にあったサイズの選び方、色の組み合わせ方 |
| 【後期】 32～36回目 | <ul style="list-style-type: none"> 服装での季節感について・メイクとの合わせ方 流行のファッション、カラーについて・小物の使い方 |
| 【後期】 37～40回目 | <ul style="list-style-type: none"> ヘアスタイル、メイク、ファッションを総合した自分のプロデュース 自分らしさを生かしたキャラクターの作り方・ヘアメイクの重要性 |
| 評価方法 | 学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価) |
| 学生へのメッセージ | 間違った方法でメイクをすると、肌のトラブルの原因にもなりますので、基本から学びましょう。メイク一つでその人自身の印象も変わるので、自分をキチンと表現する方法を見つけましょう。日々のスキンケアも大切ですので、生活習慣を疎かにせず、自分の健康も考えてください。 |
| 使用教科書 | 習得する内容に合わせて、随時プリントを配布。 |

専門学校ESPエンタテインメント東京

| | | | | | |
|--|--|-------|--------------|-------|-----|
| 授業科目名 | 舞台演技講座 I | | 授業形態 / 必・選 | 講義 | 必修 |
| | | | 年次 | 1年次 | |
| 授業時間 | 90分 (1単位時間45分) | 年間授業数 | 40回 (80単位時間) | 年間単位数 | 5単位 |
| 科目設置学科コース | 声優養成コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> | | | | |
| 担当講師 実務経歴 | 実務経験24年 劇団にも所属し、数々の舞台公演を経験。 また声優としては外面の吹替を中心に活動。 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 舞台における様々な用語や、舞台上における演技に関する講義。 役を演じるということ、さまざまな観点から考察し、学ぶ。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 舞台上で演技をする為に必要な空間の共有や、相手とのやり取りの方法を習得する。 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------|---|
| 【前期】 1～5回目 | イントロダクション 自己紹介、授業の趣旨説明、舞台用語に関する講義、演技における体力強化の重要性 |
| 【前期】 6～10回目 | 舞台上での演技とマイク前での演技の違いについて 舞台における表現方法、発声方法のメソッド、舞台の作り方 |
| 【前期】 11～15回目 | 発想カトレーニング 一つの題材についてどこまで発想を膨らませられるか |
| 【前期】 16～21回目 | 読解カトレーニング 台本の原稿から何を読み取るか |
| 【後期】 22～40回目 | 前期を踏まえた上での各種演技台本の考察～実践 |
| 評価方法 | 学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価） |
| 学生へのメッセージ | 舞台における演技は声優としての演技とはまた違った難しさがありますので、この授業を通じてそれを感じ、レベルアップしましょう。 |
| 使用教科書 | 習得する内容に合わせて、随時プリントを配布。 |

専門学校ESPエンタテインメント東京

| 授業科目名 | 表現基礎講座 | | 授業形態 / 必・選 | 講義 | 必修 |
|---------------------------------|---|-------|--|------------------------------|-----|
| | | | 年次 | 1年次 | |
| 授業時間 | 90分 (1単位時間45分) | 年間授業数 | 39回 (78単位時間) | 年間単位数 | 5単位 |
| 科目設置学科コース | 声優養成コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員による授業科目 | | 該当 <input checked="" type="checkbox"/> | 非該当 <input type="checkbox"/> | |
| 担当講師 実務経歴 | 実務経験40年 1984年テレビアニメでデビュー。1989年には声優仲間とコーラスグループを結成。以降も声優としてアニメや洋画の吹き替え等で活動中。また、和洋演舞チーム顧問を務め、芝居・演舞の舞台活動も精力的に行う。 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 役者としての表現力を高めていく為の、様々なメソッドを紹介する。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 現場に出ても即対応出来るような表現力の基礎を身に付ける。 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------|---|
| 【前期】 1～5回目 | 自己紹介。 授業の趣旨や注意事項を説明。 インプロについての方法論 |
| 【前期】 6～10回目 | 各種テーマのインプロによる対応力の強化① 他人のオファーを受け止め、自分のプランを重ねるメソッド |
| 【前期】 11～15回目 | 各種テーマのインプロによる対応力の強化② 自分が思った事を表現する為のメソッド |
| 【前期】 16～21回目 | 各種テーマのインプロによる対応力の強化③ 相手のプランに乗っかる柔軟性を求める為のメソッド |
| 【後期】 22～26回目 | 感情表現とは 感情を表現する為の方法論 |
| 【後期】 27～31回目 | 絵本を題材にした演劇のメソッド |
| 【後期】 32～36回目 | 台詞朗読のメソッド |
| 【後期】 37～39回目 | 日本舞踊の基本所作について 日本舞踊の所作を使い、体幹を鍛える |
| 評価方法 | 学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価) |
| 学生へのメッセージ | 日常生活の中から、相手の感情を読み取るという意識を持ち、実際の表現に繋げていく準備しておく事。 |
| 使用教科書 | 習得する内容に合わせて、随時プリントを配布。 |

専門学校ESPエンタテインメント東京

| | | | | | |
|--|--|-------|--------------|-------|-----|
| 授業科目名 | 演技基礎講座 | | 授業形態 / 必・選 | 講義 | 必修 |
| | | | 年次 | 1年次 | |
| 授業時間 | 90分 (1単位時間45分) | 年間授業数 | 39回 (78単位時間) | 年間単位数 | 5単位 |
| 科目設置学科コース | 声優養成コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> | | | | |
| 担当講師 実務経歴 | 実務経験43年 数々のTVアニメ、ゲーム、洋画の吹替に出演し、現在も第一線で活躍中。 国民的アニメのメインキャストとしての出演歴有り。 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 声のみの演技・舞台上での演技問わず、演技全般における「感情」という点にフォーカスをあて、芝居に対する力を高める。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 多様なシチュエーションにおける喜怒哀楽の感情を身に付け、様々な形態の演技に対応出来るようにする。 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------|---|
| 【前期】 1～5回目 | イントロダクション (自己紹介・人となりを知る) 等身大で演じてみる |
| 【前期】 6～10回目 | ボリュームに頼らず、ちゃんとニュアンスをセリフに乗せる事を意識する 恥ずかしさを取り去る / キャラクターを作る |
| 【前期】 11～15回目 | 台本を使用し、身体を使った演技 その瞬間瞬間湧き出す感情にフォーカスし、その感情をいかにして表現するか |
| 【前期】 16～21回目 | 1つの台本を自分なりにアレンジし、自身の演技を反映しながら演じる |
| 【後期】 22～39回目 | 前期の内容を踏まえ、様々な台本を使用しての演技指導 |
| 評価方法 | 学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価) |
| 学生へのメッセージ | 恥ずかしがったり、小さくまとまらずに、枠をはみ出すことを意識してください。 |
| 使用教科書 | 習得する内容に合わせて、随時プリントを配布。 |

専門学校ESPエンタテインメント東京

| 授業科目名 | 分野別講座 | | 授業形態 / 必・選 | 講義 | 必修 |
|---|------------------|-------|--------------|--|------------------------------|
| | | | 年次 | 1年次 | |
| 授業時間 | 90分 (1単位時間45分) | 年間授業数 | 38回 (76単位時間) | 年間単位数 | 5単位 |
| 科目設置学科コース | 声優芸能科 全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員による授業科目 | | | 該当 <input checked="" type="checkbox"/> | 非該当 <input type="checkbox"/> |
| 担当講師 実務経歴 | 各科目担当講師 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 専攻コースの授業内では習得の難しい様々な分野の基礎知識を、動画配信によるオンライン授業形式で行う。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 自身が音楽・芸能活動や仕事を行う上で、大半の事は自分で理解・判断し、達成への方法論を自ら考え出せる事を目標とする。 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------|---|
| 【前期】 1～2回目 | <ul style="list-style-type: none"> 卒業後の進路に向けて① (デビュー) 音楽活動における基礎知識① (リハーサルスタジオの使い方) |
| 【前期】 3～8回目 | <ul style="list-style-type: none"> 楽器の基礎知識① (ギター、ベース、ドラム) 発声の基礎知識① (台詞、滑舌、歌唱) 身体表現の基礎知識① (ダンス) 卒業後の進路に向けて② (進路) |
| 【前期】 9～15回目 | <ul style="list-style-type: none"> イベントの基礎知識① (PA、照明、イベント資料の作成方法) 身体表現の基礎知識② (ポージング) |
| 【前期】 16～18回目 | <ul style="list-style-type: none"> 音の基礎知識 (電源、マイクの原理、音の仕組み、デジタル変換) 発声の基礎知識② (アフレコ) |
| 【後期】 19～23回目 | <ul style="list-style-type: none"> イベントの基礎知識② (ライブ、レコーディングの基礎知識、進行方法) 身体表現の基礎知識③ (殺陣) |
| 【後期】 24～27回目 | <ul style="list-style-type: none"> 楽器の基礎知識② (ピアノ、管楽器) 音楽活動における基礎知識② (譜面の読み方・書き方、楽器メンテナンスの方法) |
| 【後期】 28～33回目 | <ul style="list-style-type: none"> パソコンの基礎知識① (スペック、オーディオ、ピクチャ、ムービーについて、Photoshop、illustrator) |
| 【後期】 34～38回目 | <ul style="list-style-type: none"> 身体表現の基礎知識④ (ボディサイエンス、脚本演出) パソコンの基礎知識② (Word、Excel) 表現応用 (イベント研究) |
| 評価方法 | 学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価) |
| 学生へのメッセージ | 今の時代、ある程度の事は自分一人で出来るスキルが求められます。「興味がない、関係ない」で終わらせず、自分自身の為に学ぶという意識を持って取り組んでください。 |
| 使用教科書 | 習得する内容に合わせて、随時テキストデータをPDF形式で配布。 |

専門学校ESPエンタテインメント東京

| | | | | | |
|--|--|-------|--------------|-------|-----|
| 授業科目名 | ダンス I | | 授業形態 / 必・選 | 実習 | 必修 |
| | | | 年次 | 1年次 | |
| 授業時間 | 90分 (1単位時間45分) | 年間授業数 | 39回 (78単位時間) | 年間単位数 | 2単位 |
| 科目設置学科コース | 声優養成コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> | | | | |
| 担当講師 実務経歴 | 実務経験28年 ダンススタジオ主宰、イベント、テーマパーク・ショー等のダンサー出演振付、振付アシスタントとして活動。 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 身体の姿勢、使い方のチェックから、基本的なステップ（リズムの取り方）を学ぶ。 発表会を通して、ダンスの基本を習得する。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| ステージングや、舞台演出に必要なとなる基本的な動きを習得する。 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------|--|
| 【前期】 1～5回目 | 姿勢チェック。腕、肩甲骨の使い方チェック 腹筋、腕立て。タオルを使って座位のストレッチ。 |
| 【前期】 6～10回目 | BOX、リトミックもどき。左・右/手・足を同時に別の動きを行う練習。 リズムとステップの練習曲 |
| 【前期】 11～15回目 | リズムステップの練習 コンビネーション |
| 【前期】 16～21回目 | リズムステップチェック 前期テスト曲振り付け |
| 【後期】 21～24回目 | 発表会振り付け |
| 【後期】 25～28回目 | 衣装合わせ・振り固め |
| 【後期】 29～32回目 | 衣装付きリハーサル・振り固め 発表会 |
| 【後期】 33～35回目 | バトマン バランス シエネ |
| 【後期】 36～39回目 | 後期テスト曲振り付け |
| 評価方法 | 学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価） |
| 学生へのメッセージ | 踊る為には筋力、柔軟性、姿勢が大切になるので、毎日のトレーニングに努めてください。 |
| 使用教科書 | 必要に応じて適宜資料配布 |

専門学校ESPエンタテインメント東京

| | | | | | |
|-----------------------------------|---|-------|--------------|-------|-----|
| 授業科目名 | 声優歌唱 I | | 授業形態 / 必・選 | 実習 | 必修 |
| | | | 年次 | 1年次 | |
| 授業時間 | 90分 (1単位時間45分) | 年間授業数 | 40回 (80単位時間) | 年間単位数 | 2単位 |
| 科目設置学科コース | 声優養成コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> | | | | |
| 担当講師 実務経歴 | <p>実務経験35年 ニューウェーブオペラで鮮烈なオペラデビューを飾る。パロックオペラから現代オペラ・オペレッタ・ミュージカルまで多くの作品に出演。 狂言とオペラの東西文化融合舞台で活躍。コンサートでは高い身体能力を活かした華麗なステージとMC(語り)で好評を博し、他に第九や宗教曲のソリストとしても活躍している。</p> | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 歌を歌う為に必要なトレーニングを行う。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 歌唱に必要な基礎技術(呼吸、発声、姿勢、リズム、など)を習得する。 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------|--|
| 【前期】 1～2回目 | ヴォイストレーニングを始めるための準備 正しい姿勢、口の開け方、呼吸法(腹式・胸式)、ハミング、リップロール、音域チェック |
| 【前期】 3～21回目 | ヴォイストレーニング、個人歌唱指導 |
| 【後期】 22～40回目 | ヴォイストレーニング、個人歌唱指導、グループ歌唱指導 |
| 評価方法 | 学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価) |
| 学生へのメッセージ | 歌を上手に歌う為には、歌の練習よりも基礎練習が大切です。 |
| 使用教科書 | 習得する内容に合わせて、随時プリントを配布。 |

専門学校ESPエンタテインメント東京

| | | | | | |
|---------------------------|--|-------|-------------|-------|-----|
| 授業科目名 | ナレーション基礎（発声&滑舌） | | 授業形態 / 必・選 | 実習 | 必修 |
| | | | 年次 | 1年次 | |
| 授業時間 | 90分（1単位時間45分） | 年間授業数 | 40回（80単位時間） | 年間単位数 | 2単位 |
| 科目設置学科コース | 声優養成コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> | | | | |
| 担当講師 実務経歴 | 実務経験33年 元テレビアナウンサー。総司会やメインキャスターを務め、レポートのほかにナレーションや企画・構成・取材も担当するなど活躍。ラジオ番組にも多数出演。 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 日本語の発音についての基礎を学びます。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 正しい日本語が話せるようになることを目標とします。 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------|--|
| 【前期】 1～5回目 | あいさつの練習 名前をしっかり発音 プリント朗読 |
| 【前期】 6～10回目 | 母音口形、正しい口の形を覚える 母音練習プリント、母音組合せ単語の発声方法 |
| 【前期】 11～15回目 | 音を出す時のコツ 2拍フットの練習 |
| 【前期】 16～20回目 | 長母音練習 鼻濁音練習 |
| 【後期】 21～25回目 | 滑舌練習 無声音の練習 破裂音 |
| 【後期】 26～30回目 | 子音練習 舌の位置確認 |
| 【後期】 31～35回目 | ナレーション読みの為の基礎練習 CM原稿を使つての基礎練習 |
| 【後期】 36～40回目 | TV番組宣伝ナレーションでの基礎練習 台詞の滑舌練習 |
| 評価方法 | 学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価） |
| 学生へのメッセージ | 言葉の組み合わせ方で発音の方法が変わります。 何をするにしても基礎が大切ですので、疎かにしないで真剣に取り組んでください。 |
| 使用教科書 | 習得する内容に合わせ、随時プリントを配布。 |

専門学校ESPエンタテインメント東京

| | | | | | |
|--|--|-------|--------------|-------|-----|
| 授業科目名 | アフレコ I | | 授業形態 / 必・選 | 実習 | 必修 |
| | | | 年次 | 1年次 | |
| 授業時間 | 90分 (1単位時間45分) | 年間授業数 | 40回 (80単位時間) | 年間単位数 | 2単位 |
| 科目設置学科コース | 声優養成コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> | | | | |
| 担当講師 実務経歴 | 実務経験12年 声優としてアニメ・ゲーム・ドラマCDなどで活躍する。 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 実際に映像を目の前にして演技を行う際のスキル、及び現場でのマイクワーク等を含めた基礎的な部分を学ぶ。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| アフレコを行う際の基本スキルの習得。 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|--|--|
| 【前期】 1回目 | アフレコを行う際のポイント・注意点の説明 各仕様機材の説明(コンデンサーマイク・キューボックス・DAW・ミキサー等) |
| 【前期】 2～10回目 | 台本読み キャラクター毎の演技の使い分けについて アフレコ録音、及びフィードバック |
| 【前期】 11～21回目 【後期】 22～40回目 | 上記内容を繰り返し練習。 授業毎にフィードバックを行い、改善点の確認。 |
| 評価方法 | 学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価) |
| 学生へのメッセージ | アフレコはグループで1つの作品を作っていく作業の為、1人の遅れが全体の遅れに繋がる。故に、事前の台本の読み込み等を徹底する事。 また、台本の取り扱いには充分注意すること。 |
| 使用教科書 | 習得する内容に合わせて、随時プリントを配布。 |

専門学校ESPエンタテインメント東京

| | | | | | |
|---|--|-------|-------------|-------|-----|
| 授業科目名 | 声優芸能実地演習 I | | 授業形態 / 必・選 | 演習 | 必修 |
| | | | 年次 | 1年次 | |
| 授業時間 | 180分 (1単位時間45分) | 年間授業数 | 7回 (28単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 声優芸能科 全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> | | | | |
| 担当講師 実務経歴 | 各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| それぞれのイベント等における対応、現場における進行の様子・作業について研修を行う。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 現場における作業、流れ等のノウハウ習得。 イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。 企画、立案、進行等、インプット・アウトプット能力の向上。 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------|---|
| 1回目～2回目 | 舞台観劇 特別授業、イベント |
| 3回目～4回目 | 前期公演 |
| 5回目～6回目 | 楽園祭 |
| 7回目 | 特別授業、イベント 進級公演 |
| 評価方法 | 平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価) |
| 学生へのメッセージ | この演習を通じて、現場における流れや、他社とのコミュニケーションの仕方等確りと学んでください。 |
| 使用教科書 | 当日の役割分担表、業務要項等を配布 |